

厚生委員会の視察計画について(案)

1 実施日

令和元年 10 月 24 日 (木)・25 日 (金) (1泊2日)

2 視察先及び目的

富山県富山市

(1) 「高齢者及び児童施設を併設した、複合施設運営に関する調査・研究」

平成 26 年 4 月に開設された社会福祉法人アルペン会「あしたねの森」は、約 6000 m²の敷地内に、特別養護老人ホームや、保育所、学童保育、放課後デイサービス等が併設された複合施設である。高齢者施設と児童施設は園庭を囲むように向かい合って建てられ、施設間を渡り廊下でつなぐなど、双方が行き来できる施設設計となっている。

日常的な多世代交流を図りながら、高齢者や子どもの自立支援に向けた取組を実践することで、ともに「笑いあい、学びあい、支えあう」地域づくりを目指している。

(2) 『富山型デイサービス』に関する調査研究」

「富山型デイサービス」は、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に身近な地域でデイサービスを受けられる「小規模」「多機能」「地域密着型」の施設である。平成 5 年に民間事業所「このゆびと一まれ」が開設されたことに遡るが、既存の縦割り制度にはない柔軟な福祉サービスの形として、当初から全国的な注目を集めている。

高齢者・子ども・障害者が、家庭的な雰囲気の中で一緒に過ごすことによる生活上の相乗効果が期待され、現在も様々な事業者が、利用者本位のサービスの提供を目指し、個性ある事業所運営に取り組んでいる。

(3) 『角川介護予防センター』の取組に関する調査・研究」

平成 23 年に開設された、温泉水を活用して高齢者の運動機能の維持と向上を図る、全国でも例をみない施設。水中運動や温熱療法、パワーリハビリテーションなど、利用者の健康状態や体力に応じた実践的な運動プログラムを提供することで、専門的で精度の高い介護予防と、QOL (生活の質) の向上を目指している。

(4) 『まちなか総合ケアセンター』の取組に関する調査・研究」

平成 29 年 4 月に、地域包括ケア拠点施設として小学校跡地の一部に開設された。訪問診療等に特化した「まちなか診療所」、産後の心と体の回復支援を行う「産後ケア応援室」、お迎え型病児保育事業等を実施する「病児保育室」、心と体に発達の遅れが心配される乳幼児を支援する「こども発達支援室」など、乳幼児から高齢者までを対象に一元化・包括的なサービスの提供を行っている。

3 行程（案）

1日目 10/24（木）	2日目 10/25（金）
8：50 上野駅 発	9：10頃 富山市内ホテル 発
11：25 富山駅 着	9：30～10：30 角川介護予防センター
【昼食】	■視察（3）
12：24 電鉄富山駅 発	10：50～11：30頃 富山市役所
12：31 東新庄駅 着	◆議場見学等
13：00～14：30 あしたねの森	【昼食・移動】
■視察（1）	13：30～15：00
14：55 東新庄駅 発	まちなか総合ケアセンター
15：02 電鉄富山駅 着	■視察（4）
15：30～16：30 富山市役所	16：15 富山駅 発
■視察（2）	18：22 上野駅 着
（富山市内ホテル宿泊）	

※時間については予定、詳細は省略